



北海道におけるオオジシギの繁殖個体数の推定

目的

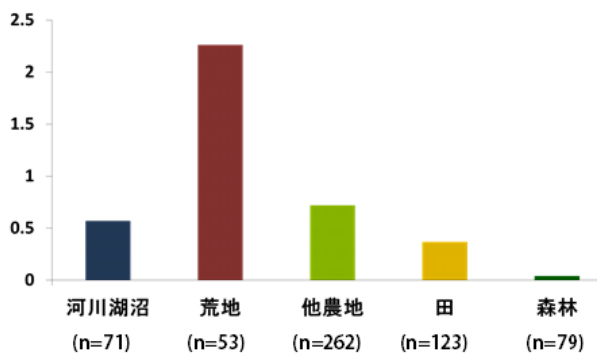
オオジシギは、日本を中心にその周辺のみで繁殖し、その大部分が北海道で繁殖する。本州以南では繁殖地が減っており、環境省のレッドリストでは準絶滅危惧種に指定されている。北海道でも個体数の減少を指摘する声があるが、1986年の推定繁殖個体数（3万6千羽）以降のデータはなく現状がわからない。そこで今後の基礎資料とするために、現在の北海道におけるオオジシギの個体数と生息状況を調べた。

方法

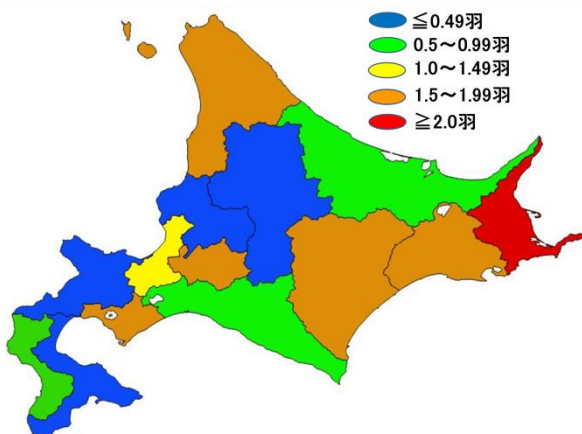
国土交通省の土地利用図を元に北海道内の14エリアで1km²のメッシュを10タイプの土地利用に分け、そのうち5タイプの中からランダムに選んだ588メッシュで調査した。選択したメッシュ内で10分間、ディスプレイをしているオオジシギを数え、土地利用区分ごとに1メッシュあたりの平均個体数を求めた。その値にエリア内の各土地利用区分のメッシュ数を乗じ、オスの推定個体数とし、同数のメスが生息している仮定で2倍の数を北海道内のオオジシギの推定個体数とした。調査は日本野鳥の会職員と支部会員、オオジシギ調べ隊（地域の親子とオーストラリアの研究者と子どもたち）で2018年4月28日～5月31日に実施した。

結果

北海道内のオオジシギの推定個体数は約3万5千羽であった。環境別でみると、**荒地で密度が高く**、ついで農地、河川湖沼となり、オオジシギの好む草地で密度が高いことがわかった。エリア別の状況では根室、釧路などの**道東地方で多く生息する**と推定され、ついで道北や旭川などの道北地方が高く、**道南では少ない**ことが予測された。



土地利用区分ごとのオスの平均個体数 (1km²あたり)



地域ごとのオオジシギの推定密度

地域	活動エリア名	推定個体数(♂)	推定個体数×2
道南	道南檜山	47	94
	函館	40	80
道央	小樽	26	52
	札幌	244	488
	江別	224	448
	苫小牧	396	792
	室蘭	81	162
	滝川	162	324
	道北	旭川	1111
道東	道北	2917	5834
	十勝	2907	5814
	釧路	3134	6268
	根室	3797	7594
	オホーツク	2301	4602
全平均羽数		17387	34774

各支部の活動エリアごとのオオジシギの推定個体数